

エポキシ・アクリルエマルジョン配合コンクリート表面コート材

エポミックス7000コート

エポミックス7000コートは、セメント系微粒子粉体にエポキシ・アクリルエマルジョンを配合した複合塗膜コンクリート表面コート材です。エポキシ樹脂の持つ耐水性及び接着性能、アクリルエマルジョンの持つ透水や通気性抑制効果により、**躯体防水**はもちろんのこと、**中性化**や**凍害抑止**などコンクリート保護にも優れた効果を発揮します。

特長

- ▶ 適度なレベリング性を有し、壁面でもダレることなく、ローラー毛跡が消えて、平滑な仕上げができます。また、ライトグレーに調色された塗膜は、コンクリート構造物の風合いをそこなうことなく、美観的にも優れています。
- ▶ エポキシ・アクリルエマルジョンの成膜により、エポキシ樹脂単体では得られない防水層を形成し、優れた防水効果を発揮します。
- ▶ アクリルやEVA系エマルジョンを単独配合した塗膜防水材によく見られる液相部での膨れや剥がれないため、保護材が不要です。
- ▶ コンクリートやモルタルの、中性化や凍害抑止に効果があります。

用途

- コンクリート構造物の防水及び美装
- 改修工事における断面修復の中性化保護
- コンクリート構造物の塩害抑止
- 新設コンクリート構造物の中性化保護
- 寒冷地でのコンクリート構造物の凍害抑止

● 荷姿

- 粉体 8 kg ● 主剤 3 kg ● 硬化剤 1 kg

配合及び材料使用量

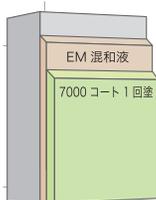
粉体	8 kg	
EM 混和液	主剤	3 kg
	硬化剤	1 kg
水	0 ~ 1.0 kg	
練上り量 (ℓ)	7.23	
積算比重	1.66	
プライマー用配合		
EM 混和液	主剤	3 kg
	硬化剤	1 kg
水	4 kg	
使用量	水希釈液0.2kg/m ² (積算使用量0.1kg/m ²)	



■ 工法と使用目的

工法名	使用目的	m ² 使用量 (kg)	塗り厚 (mm)	施工面積
EMC-1	仮防水・美装	0.5	0.3 以上	24 m ²
EMC-2	防水・中性化抑止・凍害抑止	1.0	0.6 以上	12 m ²
EMC-3	防水・中性化抑止・凍害抑止・塩害抑止	1.5	0.9 以上	8 m ²
特殊	上記用途のうち耐磨耗が要求される用途	2.0	1.2 以上	6 m ²

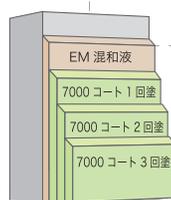
■ 工法図



EMC-1 工法
(塗布回数 1 回以上)



EMC-2 工法
(塗布回数 2 回以上)



EMC-3 工法
(塗布回数 3 回以上)

■ 施工例



施工前



施工中



完成

施工要領

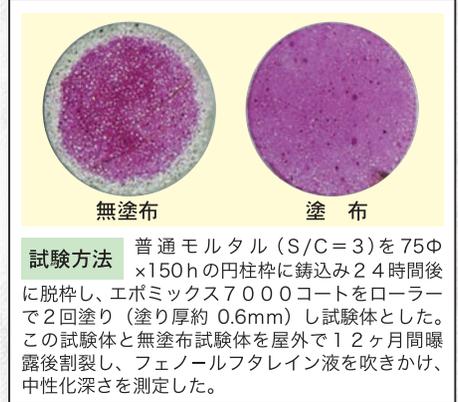
- ① 下地を洗浄し、埃、レイトンス、エフロ等を除去する。
- ② 下地乾燥後、プライマー配合したEM混和液をハケ、ローラー等で塗布する。
塗布量: 0.2kg/m²(水希釈液) 積算使用量: 正味0.1kg/m²
- ③ EM混和液塗布後、最低1時間放置して、エポミックス7000コートを塗布する。
塗布量: EMC-1工法 0.5kg/m²(0.3mm厚)
EMC-2工法 0.5kg×2回塗り=1.0kg/m²(0.6mm厚)
EMC-3工法 0.5kg×3回塗り=1.5kg/m²(0.9mm厚)

性能

試験項目	材 齢	試験結果	試験方法
接着強さ (N/mm ²)	標準状態	14日	3.0
	低温状態	28日	3.1
耐ひび割れ性	28日	異常なし	J I S A 6 9 1 6
耐 衝 撃 性	28日	異常なし	J I S A 6 9 1 6 おもり: W2-1000 使用
透 水 性 (g)	7日	0.2	J I S A 1 4 0 4 (0.3MPa×1時間) 膜厚0.9mm
耐 磨 耗 性 (g)	28日	0.15	J I S K 7 2 0 4 磨 耗 輪 材 質 H-10 輪荷重1kg 1000回転
中性化深さ (mm)	無 塗 布	1年	6.1
	塗 布		0
			社 内 法

注) 上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

■ 中性化深さ試験写真



● 使用上の注意

- ・ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。SDSの入手は購入先にご依頼下さい。
- ・取り扱い時は、保護手袋、保護眼鏡、防塵マスク等の適切な保護具を着用して下さい。
- ・製品は直射日光、湿気を避けて5~35℃で保管して下さい。
- ・飲料用水槽、養魚用水槽には使用できません。
- ・駐車場等ではタイヤ痕やゴム製靴等による汚れが付着することがあります。
- ・本製品は、亀裂に対する追従性はありません。
- ・結露により硬化不良を起こすことがありますので、結露が考えられる場合は通風等の結露防止策を行って下さい。
- ・施工中、養生中に5℃以下になることが考えられる場合は、採暖を行って、施工、養生温度を5℃以上に保って下さい。
- ・長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- ・一度練った材料の練り返しは絶対にしないで下さい。(物性が低下します)
- ・目に入った場合は直ちに水で数分間注意深く洗い、眼科医の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は多量の水と石鹸で洗浄し、湿疹や炎症の兆候が見られる場合は医師の治療を受けて下さい。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

● 本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

● 既存下地・施工環境・気候とさまざまな施工上の問題がありますので、使用の際は当社営業担当へご相談下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エルホン・化成工業株式会社
EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

● 本 社 工 場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
● い わ き 工 場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
● 大 阪 支 店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原5-1-3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
● 福 岡 支 店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
● 関 東 支 店	〒224-0003	神奈川県横浜市都筑区中川中央2-5-13-3F	TEL (045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
● 仙 台 支 店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
● 名 古 屋 支 店	〒463-0048	愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
● 札 幌 営 業 所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
● 新 潟 営 業 所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
● 静 岡 営 業 所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
● 北 陸 営 業 所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
● 広 島 営 業 所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
● 熊 本 営 業 所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
● 鹿 児 島 営 業 所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
● ㈱エルホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜5226-13	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
● ㈱エルホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1450-6	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230